

ふるさと創生一億円 大滝温泉蘇生事業に決定

市では、ふるさと創生事業として「大滝温泉蘇生事業」を行うことに決定しました。この事業を推進するため、七月二十八日に庁内プロジェクトチームを設置。今後、全体計画や実施計画の策定、一億円の具体的な使用道などについて検討を行うことになりました。

ふるさと創生事業は、国が全国市町村へ一律に一億円（昭和六十三年度二千万円、平成元年度八千万円）を交付し、市町村の自主的、主体的な地域づくり事業を支援しようとするものです。

市では、この一億円をどのよ



蘇生事業が行われる大滝温泉

うな事業に充てるべきかについて、各方面からアイデアを出していたがこうと、市民アイデア会議などを開催。その結果、庁内アイデア六件、市民アイデア四十三件の計四十九件が出されました。

これらのアイデアを市では、▽人材育成▽観光開発整備▽新たな産業振興▽施設整備などの項目に分け、類似性のあるものを整理し、速効性、将来展望、大館のイメージアップなどの点から検討を加えました。さらに、「地域振興の起爆剤となり得る事業で、地域経済への波及効果が永続的に期待できる施策にすべき」との基本的な考えに基づき検討を重ねた結果、「大滝温泉蘇生事業」と「七つの驚きとロマンの里整備事業（文化財有効活用事業）」の二案に絞り込みました。

この二案を、さらに一案に絞り込むため、市では「ふるさと創生事業推進市民懇談会」を開催。市民の皆さんからの意見・要望などを踏まえた中で、一億円を「大滝温泉蘇生事業」に充てることに決定したものです。

プロジェクトチームを設置

市では、この事業を推進するため七月二十八日、都市開発課、観光物産課、企画調整課の三課担当者を中心に「庁内プロジェクトチーム」を組織しました。

「大滝温泉蘇生事業」案は、庁内アイデアと市民アイデアを整理した「素案」であるため、このチームを中心に、全体計画や実施計画の策定作業を行うこととなります。また素案の中には、大滝温泉蘇生に必要な各種事業が盛り込まれているため、交付される一億円をどの事業に充てるかなどの検討も行うこととなります。

「ふるさと創生」はこの事業だけで終わるわけではありません。皆さんからお寄せいただいた貴重なアイデアについては、市の開発計画等に反映させるなど、積極的な取り組みを進めていきたいと考えていますので、今後市民の皆さんの一層のご協力をお願いいたします。

語り合しましょう大館を —移動市役所開催日程—

地区	月 日	会 場
上川沿	8月23日(水)	山 館 会 館 根 下 戸 会 館
	24日(木)	有 浦 児 童 館
大 館	25日(金)	桂城児童センター
	29日(火)	東台1区児童館
	30日(水)	狐台雇用促進住宅向いの会館
	31日(木)	大 館 神 明 社

じかん・上川沿地区 午後7時半～9時半
大館地区 午後7時～9時
※最寄りの会場へおいでください。
※当日出席できない方は、8月1日号広報に折り込みの「市長への手紙」で、ご意見・ご要望等をお寄せください。

市長メモ



No.15

共通の財産

「我が故郷に誇りと自信を、他人任せではなく、みんなで汗して創り出そう」そう願って、多くの皆さんの声の中から結論づけました。

それが「蘇れ、大滝温泉」です。温泉資源は、市民共通の貴重な財産の一つであり、その有効活用を図ることは、所有者にとってはもとより、観光産業に、そして地域経済全体に極めて大事であるという判断からの選択です。

しかし、この仕事は行政だけで行えるものではありません。大滝温泉全体のイメージづくり、機能向上のために必要な仕事を、行政がやるべきもの、地元に行っていたり、両者が共同でやらなければならないもの等に分けて進め、文字どおり「大館の観光名所」としての大滝温泉に、蘇らせなければなりません。そのために、直接、間接を問わず、多くの市民の皆さんに「蘇生事業」への参加を求めてまいりますので、よろしくお願ひします。

ふるさと創生